

(案)

Beyond 5G 推進コンソーシアム 企画・戦略委員会
白書分科会(第 22 回)／
周波数作業班(第回)／ビジョン作業班(第回)／技術作業班(第回)
議事要旨

1. 日時： 2023 年 3 月 7 日(火)15:00～16:40

2. 場所： ウェブ会議(Webex)

3. 出席者：

中村主査(NTT ドコモ)

周波数作業班：本多リーダー(エリクソン)

ビジョン作業班：小西リーダー(KDDI)、永田サブリーダー(NTT ドコモ)

技術作業班：中村リーダー(富士通)、下西サブリーダー(NEC)

WP5D 対応 Ad hoc：菅田主査(KDDI)、武次副主査(NEC)

ほか、通信事業者、メーカー等、計 61 名

(事務局)

総務省移動通信課 新世代移動通信システム推進室

ARIB 加藤 他 6 名

4. 議事要旨

(1) 前回(#21)会合議事要旨

前回白書分科会(#20)議事要旨案につき 3/6 展開、3/10 までのコメントを依頼。

(2) WP5D 対応 Adhoc

武次副主査より、資料にそって WP5D での検討状況の報告が行われた。主な質疑は以下の通り。

KDDI 小西氏：なぜスコープが議題となっているのか。

武次副主査：強弁に反対している国があり、スコープに対してこのレポートそのものに否定的な見解の記載が追加されている。

華為 朱氏：WRC-27 議題に関連するため WRC の議論に影響するという背景で反対しており、今年度の完成は難しいと考えている。

武次副主査：同様の感触である。

KDDI 菅田主査：反対理由として、そもそも 100GHz 以上について IMT で利用することが決定されていないことが挙げられている。

菅田主査より、資料にそって WP5D での検討状況の報告が行われた。主な質疑は以下の通り。

(案)

華為 朱氏:今年の6月の完成であるが、不透明な状況となっている。完成しないことは大きな問題となると考えている。日本提案に関しては、2.1章に含まれているが、ハイレベルな記載となっており、反対している国があるので、採用されない可能性がある。

菅田主査:反対しているのはイランであるが、理由は記載している視点が大きすぎ、IMTとの関連性や、実現性が問われている。朱様の指摘に対しては、IMTが寄与するという表現に置き換えれば、採用される可能性も有りうる。

ドコモ 永田氏:この文書に記載されている内容は、6Gの実現性に対してどのように関わっているのか?

華為 朱:具体的な部分は Usage Scenario, Capability 等で議論されている。今後、日本提案が採用される努力はするが、Usage Scenario, Capability レベルで反映できれば良いと考えている。

中村主査:厳しい状況ではあるようだが、日本のビジョンや白書の中身が採用されることは喜ばしいので、引き続き対応をよろしくお願ひしたい。必要なサポートは行いたい。

(3)ビジョン作業班

小西リーダーより、資料 04「白書 2.0 版の完成に向けて」に沿って説明がなされた。まず、P.1 で、これまでの皆様の多大なご尽力とご協力により、白書 2.0 版が完成したことに対し、謝意が示された。また、P.2「白書 2.0 までの道のり&振り返り」が説明された。また、P.3「3/13 の白書分科会イベント」の内容に関する説明があった。P.4 にて、重ねて謝意が示された。

中村主査から、小西リーダーに議事進行を含めよろしく、との依頼があった。また、永田サブリーダー、住友電工宮田氏、ユニアデックス 小椋氏から、皆様の協力に対し、謝意が示された。

(4)技術作業班

中村リーダーより、資料 04「技術作業班会合資料」に沿って、白書 2.0 版の更新内容およびリリースイベントについて説明がなされた。特に質問はなし。

(5)周波数作業班

周波数作業班リーダーの本多様より、資料にそって周波数作業班の活動状況の報告、白書の更新内容の説明が行われた。主な質疑は以下の通り。

中村リーダー:6.1.3.1 の図について FR1 を追加する修正を行いたい。

事務局 佐藤:承知した。

(案)

KDDI 菅田氏:新議題について補足情報であるが、275-300GHz の移動業務などへの一次割当は日本提案である。

(6)ホワイトペーパー2.0 版リリースイベントについて

事務局より、資料 06「B5G 白書 2.0 版リリースイベント案内」に沿って、リリースイベントの内容について説明がなされた。主な質疑は以下の通り。

事務局:白書紹介のプレゼン資料は今週中に事務局へ送付してください。

中村主査:概要は白書概要説明資料の最初の概要部分になる。

中村主査:パネルディスカッションの資料はどうするか。

小西リーダー:ビジョンは資料を使わない予定。

中村リーダー:技術は検討中。1 枚くらい作成するかもしれない。

中村主査:リリースイベントの通知はどうされているか。

事務局:B5G コンソのホームページで通知、白書分科会関係者へメールで通知、高度無通関連の団体と 5GMF 関係者へメールで通知している。

中村主査:皆さまでも宣伝していただけるとありがたい。

(7)その他

中村主査より、白書の最終化に向け、メールで議論している議論も踏まえ、Capability の表現統一、表 5.1-1 に「超安全・信頼性」を追記することが提案された。主な質疑は以下の通り。

住友電工 宮田氏:見直し時に統一できていなかった部分であり、この内容で統一することに異論はない。

小西リーダー、中村リーダー:問題ない。

事務局 佐藤:High-speed, fast 等を他に用語の統一が取れていない部分も散見される。4 章は修正したいが、5 章は手を加えない想定である。但し、修正は可能なので、早めに頂ければ対応する。文章の方は変更が容易である。

中村リーダー:文脈によるので、KPI の Capability に特定されそうな箇所のみ変更することでどうか。

事務局 佐藤:6.3 章については Capability の表があるのでそこは修正予定であるが、それ以外 Capability に直接関連するところは見つかっていない。最終チェックで気になる所があれば、メールで相談する。

KDDI 菅田氏:修正提案で、堅牢性は Resilience ではなく Robustness ではないか。

(案)

中村主査: 英語としては Resilience がよく使われているので、堅牢性を置き替えるのはどうか。回復力が適当か。

事務局 佐藤: 元の引用元との関係もあるので影響を考える必要がある。

住友電工 宮田氏: 意図に大きなずれが無ければ問題ないのではないか? 用語を厳密に一对一であわせる必要はないのではないか。

まとめとして中村主査より、これ以上修正を始めると他に影響があるとして、提案ベースで進めることが提案され了承された。もし他に修正がある場合は、早急に事務局に連絡することが求められた。

以上